NO.	種名称 （学名）	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期													参考文献
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
11	イソヒヨドリ Monticola solitarius	スズメ目 ヒタキ科 ツグミ亜科	海辺の崖でさえずる、青と赤の鳥。ユーラシア大陸の温帯から亜熱帯で繁殖し、日本では北海道東部を除く全国の海岸で普通に繁殖する。留鳥だが、北海道のものは冬は暖地に移動する。	本来の生活場所は崖や岩場のある海岸で、砂浜には現れない。一年中、単独かつがいで生活する。岩角や松の枝などにとまって地上を見張り、昆虫やフナムシのような小動物を見つけると舞い下りてこれを捕まえる。空中を飛ぶフライングキャッチをすることもある。繁殖期にはつがいで縄張りを持ち、オスは早春からさえずり始める。岩の隙間などに枯れ草や細根で椀形の巣を作る。	繁殖期にはオスは岩角や燈台の手すり、電線などにとまって「ツツ、ピーコ、ピィー」と聞かれる、美しい棲んだ声でさえずる。また、さえずりながら舞い上がることもある、メスもオスも似たさえずりをすることがあるという。	オスは色彩で見誤ることはない。メスは全身褐色で下面は波模様があり、体形や尾を振る動作にも特徴がある。													山渓カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社